

1. 【日本語仮訳作成】国際学術会議（ISC：International Science Council）のポジションペーパー「Science as a Global Public Good（グローバルな公共善としての科学）」の日本語仮訳を掲載しました

2. 【開催案内】公開シンポジウム

「自然災害を取り巻く環境はどう変化してきたか」

■-----
【日本語仮訳作成】国際学術会議（ISC：International Science Council）のポジションペーパー「Science as a Global Public Good（グローバルな公共善としての科学）」の日本語仮訳を掲載しました
-----■

2021年11月、国際学術会議（ISC：International Science Council）がポジションペーパー“Science as a Global Public Good”を公表しました。グローバルな公共善としての科学の役割及び社会における科学者の責任に関するもので、日本学術会議事務局が本ペーパーの日本語仮訳を作成しております（同仮訳はISCのHPにも掲載されています）。ぜひご覧ください。

日学HP：<https://www.scj.go.jp/ja/int/isc/index.html>

ISC HP：<https://council.science/current/news/science-as-a-global-public-good/>

■-----
【開催案内】公開シンポジウム

「自然災害を取り巻く環境はどう変化してきたか」
-----■

【日時】2022年5月9日（月）12:30～18:00

【開催】Zoom ウェビナー

【主催】日本学術会議 防災減災学術連携委員会

【共催】（一社）防災学術連携体

【開催趣旨】

自然災害を取り巻く環境として、時代とともに要因となるハザードや、災害を受ける社会の様式が急激に変化してきている。また、COP26など地球温暖化に関する国際的な枠組みの議論が本格化している現在、改めて大きな時代認識を踏まえて自然災害を取り巻く環境の変化、対応及び今後の在り方を考えることは有意義であろう。今回のシンポジウムとしては、地球温暖化に伴う気候変動や地形の改変に伴う土砂災害など人類の活動により、災害要因となるハザードや、災害を受ける側の社会環境がどのように変化し、対応をしてきたのかに注目して、情報交換と議論を行うことにより、今後の防災に向けた情報として共有したい。関連する専門家・学協会からの多くの発信を期待し、有意義な機会としたい。

【参加費】無料

【定員】1000名（Zoom ウェビナー）

【プログラム】

<https://www.scj.go.jp/ja/event/2022/323-s-0509.html>

【事前申し込み】要 下記フォームからお申込みください。

<https://ws.formzu.net/fgen/S79677929/>

当日の発表資料は、後日、防災学術連携体のホームページに掲載いたします。

<https://janet-dr.com/>

【問合せ先】 一般社団法人 防災学術連携体

TEL:03-3830-0188

Mail:info@janet-dr.com

学術情報誌『学術の動向』最新号はこちらから

<http://jssf86.org/works1.html>

=====

日本学術会議ニュースメールは転載は自由ですので、関係団体の学術誌等への転載や関係団体の構成員への転送等をしていただき、より多くの方にお読みいただけるようにお取り計らいください。

過去のメールニュースは、日本学術会議ホームページに掲載しております。

<https://www.scj.go.jp/ja/other/news/index.html>

【日本学術会議ウェブサイトの常時暗号化について】

日本学術会議ウェブサイトは2021年10月1日より常時暗号化通信（TLS1.2）対応いたしました。

新URL:<https://www.scj.go.jp>

日本学術会議ウェブサイトへのリンク、お気に入り等設定している場合は、お手数ですが「https」への修正をお願いいたします。

【本メールに関するお問い合わせ】

本メールは、配信専用のアドレスで配信されており返信できません。本メールに関するお問い合わせは、下記のURLに連絡先の記載がありますので、そちらからお願いいたします。

=====

発行：日本学術会議事務局 <https://www.scj.go.jp/>

〒106-8555 東京都港区六本木7-22-34